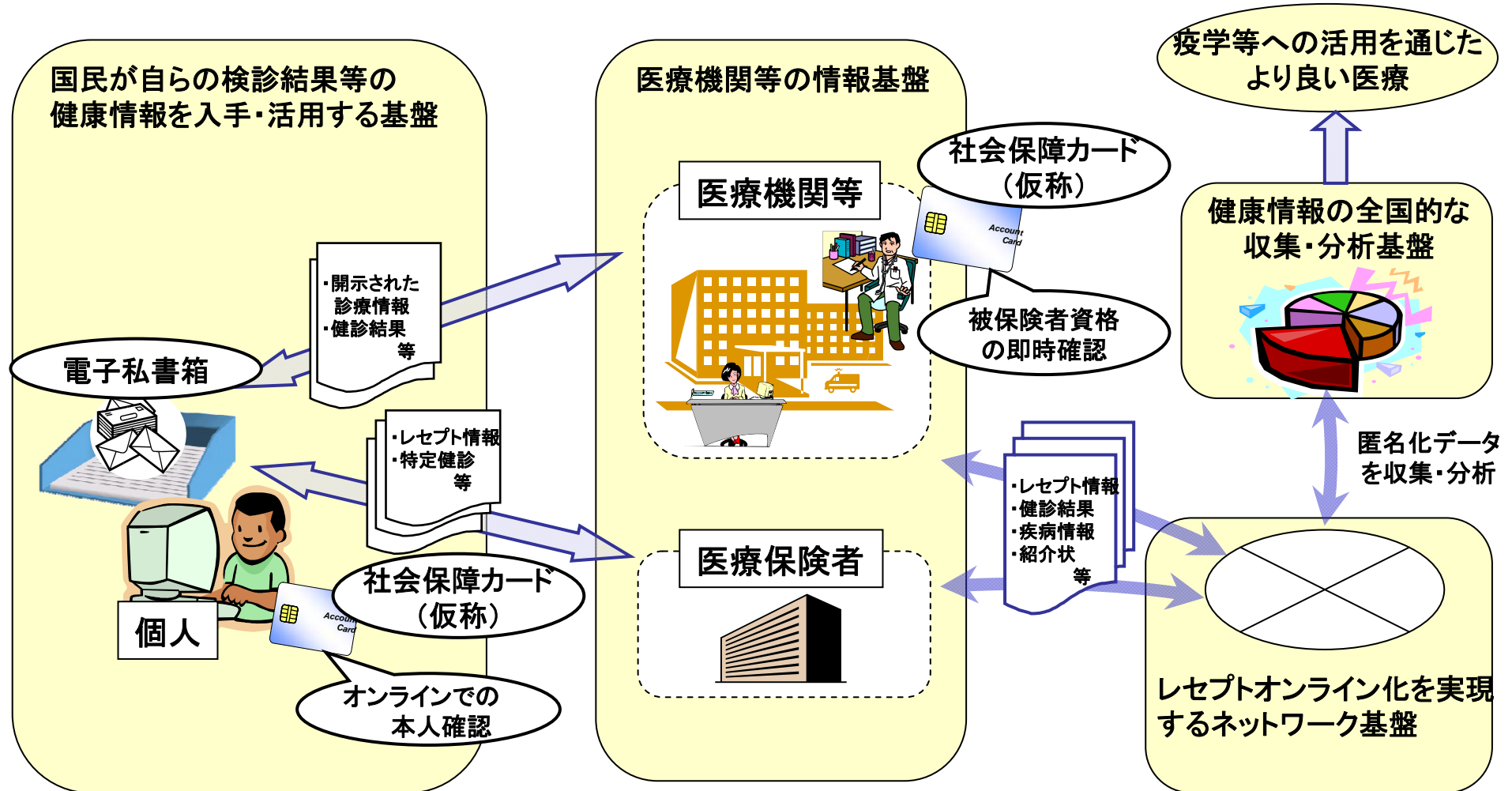


国民が実感できる目標:

①国民が自らの健診結果等の健康情報を入手・活用し、②本人が医療機関等に提示することで、病歴等に応じた医療を異なる医療機関でも継続的に受けることができ、また、③健康情報の全国的な収集・分析により医療の向上を実現する仕組みを2011年度当初までに構築する。



個人自らによる健康情報の閲覧・活用の仕組みと関連する主な検討の場

◆電子私書箱とは

国民が各個別のサービス供給者(保険者、医療機関等)で持つ情報を安全かつ容易に入手・閲覧し、国民側で自己の情報を一元的に管理するとともに適切に活用するための仕組み

将来イメージ

